

シラバス参照

お気に入りシラバス > シラバス参照

科目ナンバリングについて
こちらを参照してください。
講義コード
0044005-24
授業科目名
English Writing [ED(12)]
授業科目名(英字)
English Writing [ED(12)]
時間割
前期 金曜日 5校時 L-4 1 2
対象年次及び学年
1年次
担当教員
長井 克己
ナンバリングコード・水準
B2
ナンバリングコード・分野
ENG
ナンバリングコード・ディプロマ・ポリシー(DP)
abx
ナンバリングコード・提供部局
G

ナンバリングコード・対象学生
1
ナンバリングコード・特定プログラムとの対応
N
ナンバリングコード・授業形態
Ex
ナンバリングコード・単位数
1
関連授業科目
主題科目 領域 経済・社会・文化
履修推奨科目
Academic English I / II
学習時間
授業90分×15回 + 自学自習（準備学習15時間 + 事後学習15時間）
授業の概要
幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、1年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。
授業の目的
この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。
到達目標
<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 読解や聴解によって理解した内容を、平易な英語で要約することができる 3. Google/DeepL/GPT等をコピペするのではなく、スペルチェッカ・文法チェッカ・類義語辞典等のツールと、ネットのキーワード・フレーズ検索を利用して、自分だけの英語を書くことができる。 1～3は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。
成績評価の方法
毎週の課題提出: 40% (翻訳/AIサイトをコピペしているものは0点) mid-term exam 1: 30% mid-term exam 2: 30% examsは教科書Reading部分の空所補充30問、持込一切不可。

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。

優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。

良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。

可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。

不可（60点未満）到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了 到達目標を達成している。

不合格 到達目標を達成していない。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

- (1) 毎週のトピックについてのリーディング
- (2) 内容についてのディスカッション
- (3) 様々な表現と構文についての練習
- (4) 自分の意見を英語で書き、テキストファイルを提出

【授業計画】

- wk 1 (4/12): introduction / unit 1 (compare and contrast 1)
wk 2 (4/19): unit 2 (compare and contrast 2)
wk 3 (4/26): unit 3 (compare and contrast 3)
wk 4 (5/10): unit 4 (different perspective 1)
wk 5 (5/17): unit 5-6 (different perspective 2-3)
wk 6 (5/24): unit 7 (classification 1)
wk 7 (5/31): tutorial, mid-term exam 1 (Laptop not req'd)
wk 8 (6/7): unit 8 (classification 2)
wk 9 (6/14): unit 9 (cause and effect 1)
wk 10 (6/21): unit 10 (cause and effect 2)
wk 11 (6/28): unit 11 (pros and cons 1)
wk 12 (7/5): unit 12-13 (pros and cons 2-3)
wk 13 (7/12): unit 14 (problem solving 1)
wk 14 (7/19): tutorial, mid-term exam 2 (Laptop not req'd)
wk 15 (7/26): unit 15 (problem solving 2)

【授業外学習に関するアドバイス】

授業時間内に英文パラグラフを完成するため、ワープロの操作やネットでの辞書検索に慣れておこう。

教科書・参考書等

Hickling & Yashima. (2024).
Presentable - Writing Clear Opinions
Cengage. ISBN 9784-863124257.

オフィスアワー

授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

Laptop (ノートパソコン) を毎週持ってくる(5/31と7/19を除く)。

教科書の音声ファイルを10頁のリンク(バーコード)から入手し、繰り返し聞き、一緒に発音してみる。

* 基本的に、担当教員は英語で授業を行います(文法や単語等の説明を除く)。

参照ホームページ

毎週の課題提出先(moodle, "English Writing ED12 (nagai)")

<https://kadai-moodle.kagawa-u.ac.jp/course/view.php?id=16599>

ブラウザで辞書を引く

<https://www.ed.kagawa-u.ac.jp/nagai/dic.htm>

スペルチェック・文法チェック・類義語と置き換えをしながら、テキストファイルを作成

<https://www.ed.kagawa-u.ac.jp/nagai/wordTxt.htm>

Laptopを学内無線LANに接続

https://www.itc.kagawa-u.ac.jp/faq/#faq_ldap

メールアドレス

配付資料参照

教員の実務経験との関連